

冬の交流会
 二月二十一日から、二月二十四日まで冬の
 交流会で、坂岸黒白川村に行きました。
 そして、はじめて飛行機に乗りました。そ
 れに、はじめての雪もさわたり、見たりし
 ました。
 そして、五時ぐらいに、パートナーや、そ
 の家族と、お昼をしたりしました。そして、
 七時ぐらいに家に帰りました。
 二日目は、トヨタ白川郷自然学校で、ス
 ノシュー体験をしました。雪の中をス
 ノシューで歩く体験をしました。そして、
 三時すぎから、自由タイムで、おみやげを
 買って帰りました。夜は、祭りや花火を見ま
 した。
 三日目は、スキー体験で、スキーを
 しました。はじめてで、ぜんぜんできません
 でした。そしてスキーが終わってから、芸
 能交流会をやって終わってから解散しまし
 ました。

コナ 7-10 20X20

四日目は最後の日でした。それで、トヨタ
 自然学校で、スノーシュー体験をしました。
 二月二十一日から、二月二十四日まで、三
 泊四日間というも楽しかったです。とつても
 おもしろい思い出ができました。とつてもお
 もしかったです。

コナ 7-10 20X20

交流全体で楽しかったこと、心に残ったこと、
感じたことは、みんなとも仲良くがんばりました。自
分の目標をたて、せいでできたのでよかったです。
長いすろで短かかった3泊4日でした。か、い
ろいろ思い出ができたのでいいと思います。

を見たりしました。

三日目は、スキ―体験と、芸能交流会をしました。

初めスキ―体験では、歩くさえもできなかったけど、講師の方々が教えてくれたおかげで歩くことができました。

次は実際に高い所がらすべでみることにし、講師の先生と一緒にすべでみました。

転んだりはしたけど、おんだんが来てきたのですべれるようになりとてもうれしい気持ちでした。

次に、芸能交流会で、おたがいの伝統を表現しました。

白川村の子供たちはかきおどりやひろうしにくれました。

みんなはまはまきとしていたので上手にたてました。

誠谷村の子供たちは棒術と、ししまいをたてました。

男子は棒術、女子はししまいをや、とても

もきんちよはしたけど失敗もせずに出来た

のでよかったです。

おたがいの伝統芸能が知れて勉強になりました。

4日目は、ヒデ細工体験がありました。

初め見てみたらとても簡単だと思っただけと、実際にやってみると、とても難しくおつとため息ばかりでした。

でもきんいにかんせいでまたのびるとおんしんしました。

そしてパートナーの家族と過ごした長い

うで短か、たろ日間ですごくいいと思っただことは

100才のおおはあちゃんがいしたことです。

また心に残ったことは、かの人さんとソリですべれるように、さかやトネルを作りました。

すごく楽しくてまた遊びに行きたいという気持ちでした。

白川村では、新しい友達ができるか心配

だったけど、みんなが話かけてくれたおかげでいっぱい友達ができました。

読谷村・白川村・冬の交流

六年 山内 葉月

私は、2月21日から24日まで、冬の交流で

岐阜県白川村へ行きました。

出発前は、とても「クワクワ」していて、早く

岐阜県に行くと、新しい思いが湧き、ほのぼの作り

たい気持ちで丸ねがはりさけそうでした。

いよいよよまにま。た、白川村冬の交流、

家族の皆と出発式をして、役場から丸吉屋に

着くまで4時間かかり、丸吉屋から白川村ま

でバスで3時間かかりつきました。

そしていよいよ白川村に着き雪合戦やかま

くりを見に行きとても新鮮な気持ちで、早く

パートナリーに会いたいと思いました。

カルクパーセリターにつくと、パートナリー

の家族がまっています。

パートナリーの家族とうまくしゃべれるかと

てまきんち、うはしたけど、家族の方がしゃ

べってくんだおかけでうまくしゃべれました。

しかし、白川村の事を聞くと保木崎という

所には冤加3件しかないといパートナリーのかの

人さんから聞いてとてもおどろきました。

パートナリーの家へ行くのがのんさんのか

いいちゃんとおびあちゃんがありました。

かのんさんのお家はとてもキレイで私が

来るヒイッは、白川の事をまきました。

そして二日目は、スリーシュー体験をし

ました。

スリーシュー体験は、難しくもないし、簡

単でもなくてとても楽しかったです、またやり

で遊んだりしました。

スリーシュー体験が終わり、後は、自分た

ちでお昼ご飯を作りました。

やっぱり自分たちで作ったご飯は最高にお

いしかったです。

また、スリーシュー体験が終わってパート

ナリーの家族で天守閣と長瀬家に行きました。

天守閣では、おみやげを買ったり、てんぼ

う台で全景をみてとても感動しました。

長瀬家という所では、合堂の作りや、写真

...

交流会

興儀

飛儀

ぼくたちは、良村農協白川村との交流会に
 参加しました。この交流会は、パートナールの
 家に泊り、日おしまりして、地域の伝統や、
 世界遺産などを知ることもできる。ぼくのパー
 トナールは、玄起で、玄起は夏に沖縄に来たの
 で、ぼくが、次は、2月2日に行きました。
 ぼくたちが白川村についたときは、一泊はあ
 りませんでした。でも沖縄とせんでん、響きが
 ちがうので、とてを響か、たです。

玄起の家は合し、う作りの家なので、広く
 と、ちよ、と、ゆか、たひま。一日目の朝は、
 とてを響か、たひま、何故かと思、と開いて
 すると、一と響か、たひま、響くこの、ぱい、洋服
 を着ました。初日は、二の家をくこのことを知
 ったりました。二の家には、し、ういちろ
 うも泊まりました。なせなら、し、ういちろ
 うのパートナールのまさうみがインテルエーが
 た、たからです。

二つ日目は、三つ日目は、スキーの、一キ

とてをしたり、スキーをしたりました。ス
 キーの、一キとては、雪の山を歩いて、動
 物の足跡とかを見つけて、雪のテイクルを作
 った。その雪の上で、二はトを復しました。
 その二は、はぼくが白川で作りました。とて
 をあししか、たひま。スキーは、最初は、
 ずん、なな、たけ、後からサフトに乗、と
 上まる行、てずべなるようになりました。ス
 キーは、とてを響か、たひま。その後は、お
 みやげを買、Vに行きました。り、り、る、る、物、が

い、ぱい、おりました。飛た牛も復しました。
 忘れたりました。後、芸能交流もやりました。
 ぼくたちは、響か、たひま、たひま、たひま、
 はくし、をもち、たひま、とて、う、れ、し、か
 ったひま。最後の日は、玄起の学校まで、
 乙、終、ありました。その後は、バスで4時間
 飛行機で、時間の短のり、した。沖縄に、つ、い
 たときは、とてを響か、たひま。
 この交流会に参加して、本当に良かったと思
 います。また、交流会に参加したいです。

読谷読子ども会は、男子長浜棒と、座喜味棒
 波平棒をしました。女子は、しまいぢしま
 した。白川村子ども会の伝統芸能では、いろ
 いろなことをカルタで教えてくれたり、地方
 の踊りもやってくれたりしました。読谷村子
 ども会は、ビデオレターがありみんな自分の
 家族がくるたびはすがしがっていました。ま
 くの家族が出るよみんな笑ってくれました。
 文化交流をしたときは楽しかった。たのしみか
 ても冷たかったんです。交流が終わると、また
 スキー場に行つた。ここんどは、ソリをしました
 ソリは、上まひつ、おつていってソリを牽つ
 ておりくるもので、その夜翔かぐんの家
 族とたくさん話しました。そして四日目の朝
 みんは早くおきて学校の準備をしていました
 時間をさそ、ついで翔かぐんと、おわかれし
 てしまいました。その後翔かぐんのお母さん
 たちともおわかれして、バスでトヨタ自然学
 校に行つて、ヒデ細工体験をしました。これ
 は、精心での戦いでした。そして、わかつた

ことがあります。それは、ヒデ細工を作る人
 には、白いていなりといつて、かてをわが
 りました。ヒデ細工が終わってそのままセシ
 トト空まで行くのこまじ時間かか
 りました。ヒデ細工に乗って家につくまでに
 は、10時三十分くらいにすぎました。家につ
 いたら、つかれたのでおねました。ぼくは、
 白川村にまたいきたいなと、思いました。

物の足あとを見たり、雪の中にとびこんたり
 しました。トヨタ自然学校にもどつてきて、
 雪のテールを作りました。雪のテールは
 まず足で雪をふみかためて、次に肩をほつ
 ていきます。ひこの位置まできたら完成です。
 でも、問題がありました。それは、ばらばら
 に足あとがついているので、昼ごはんの、三木
 ストロースと作ったアイスとバナナをとても不
 安定なところにおかないとけいけんつてこと
 ですよ。でも、とてもおいしく食べました。ト
 ヨタ自然学校から各家庭行動は、守れい動
 についておみやげを買いました。その後は、
 スキーについて、楽しめました。スキーでは
 スキーごつのはぎ方やスキー板のつけおスキ
 板のよきの坂の上り方やすべり方を翔也くん
 のお父さんが教えてくれました。そして、リ
 フトに乗って上から下にありまじぎ始めは
 とてもおもしろい。でも、何度もチャレンジ
 していると、みんな平気になつておもしろく
 なつた。あら、おもしろい。翔也くんおもしろい

湯かき部屋が待っていました。その次の日は
 いつも通り六時二十分におきました。その日
 は、スキー体験をしました。先日、スキーを教
 えてもらったので、とても簡単にできました。
 でも最初は、翔也くんはローでひっぱつて
 せうつて、少ししてから一人でできるように
 なりました。翔也くんの家にはたくさんのお金
 があるのかと思いました。それからみんなつま
 いんだなと思いました。その後、昼食にカレー
 を食べました。カレーは中絶とは、変わらな
 いんだなと思いました。そしてバスに乗って
 カルチャーセンターについて、文化交流の準備
 をしました。人は普通よりたくさんいます。
 た。もしかしたら、今日やうにカラオケ大会
 のときに発表したからかもしれません。その
 時に、しんくんという、ほくにんとしてもいて
 るといわれる人と会いました。ほくは、そん
 なに似ていると思わないうんですか、みんな似
 ているというのだからそうとうにているんす
 かと思いました。さて、文化交流は、ほくた

「読谷村白川村交流会」

津波 正天朗

二月二十一日から二十四日まで、岐阜県白川村に交流しに行きました。ほくのパートナは、新谷翔也くんです。二月二十一日は、朝七時三十分から後場集合して、七時四十五分から「出発」一五して八時には、那覇空港に向かっ、十時四十五分に出ました。飛行機の中は、とても暑かっ、少し気持ち悪くなっ、左げど大丈夫でした。セントレア空港につく

と白山タクシーと書かれてるバスに乗りまじた。ほくは「タクシー」と書かれてるのにはバスというのよ、初めて見ました。お昼は、とてもおもしろいハンバーグを食しました。夕古屋から、白川村までとても長い時間がかかりました。こちゅうこちゅうトイレタイムで道の駅やほかのところを、雪が積もっ、いてみんな興奮してました。白川村に行くまでには、とてもたくさんのお土産があっ、そのたびにみんな、「ワオー、ワオー」と言

ていました。そして、カルチャーセンターで対面さ、迎えました。対面さでは、ひさびさに自分のパートナー、白川村のみんなに、会えました。翔也くんは、夏の交流とあまり変わっ、ていまいんでした。でも、とても身長かのびていました。翔也くんには、お父さんお母さん、おじりちゃん、おばあちゃん、お姉ちゃん、弟がいきました。対面さの料理は、かんぶりど、たまごの汁です。その後翔也くんの家にいっ、左げど、とても広くてびっくり

しました。次の日の朝は、六時三十分ごろにおきて、がまぐりを作りました。かまぐらの中は、冷たいと思っ、毛のですが、とても温かっ、たんです。ほくは、外の冷たい風にあたるから寒いんだなと思っ、ました。その日は、スノシュー体験でした。スノシュー体験は、スノシュー自然学校で、スノシューという、雪に足をとられないうにやる道です。ほくは、みんなより一番足が大きかったんです。足の大さは、おもしろい。スノシュー体験では、朝

白川交流感想

J・L 仲村麻鈴

私はジュニアリーダーに加入して、初めての
大仕事である白川村交流に参加しました。米子
の交流には参加できなかったのですがとても楽し
み
でした。

白川村に着くと、雪が降っていて沖縄とは違
った寒さが感じられました。一日目は移動時間
が長く、子ども達は疲れていたと思うけれど、
パートナーと会うと元気になっていました。

二日目のスノーシュー体験では、リスやタヌ
キなどの動物の足跡や雪が降っているからそ
で
きる遊びを教えてもらい、楽しく、ためにな
るお話も聞きました。この後は各家庭で行動で
したが、白川ジュニアの方々に白川郷の合掌の
内も案内してもらいました。沖縄の家の造りに
も共通する点があり、生活における文化の違い
が学べました。

三日目のスキー体験は、誰かケガしないか心
配したけれど、ジュニアと引率者だったので、
子ども達に何もなくてよかったです。初めての
スキーなのに小学生が上手で、ジュニアはポロ

ポロという結果でしたが、とても楽しかったで
す。

四日目は多くの人たちが見送りに来てくれま
した。皆、沖縄に帰りたくないと言っていました。
た。それほどパートナーと楽しい時間を過ごし
たんだなと思えました。最後のヒデ細工はま
ち
がえたり、折れたり、ジュニアが一番遅くて大
変でした。

この交流を通して、住む場所が違えば文化は
も
っと違ったりするのがおもしろいと思いま
した。

白川でお世話になった方々、沖縄の子ども達
を
迎えてくれた家族の方々に感謝します。

白川村冬の交流に参加して

瀬名波子ども育成会
会長 當山勝則

夏の交流の際には、白川村の子を我が家へ民泊させ、楽しく過ごさせて頂きました。期間中は、沖縄そして読谷村の事を紹介、案内する事により、自然や文化・伝統芸能など読谷村の宝物を再認識する事が出来ました。

この事業に参加したきっかけは、私自身も小学6年生の頃、同様の事業で宮崎県日向市との児童交流に参加し貴重な体験をさせて頂き、我が子にも同じ体験をさせてあげたい！と言う思いからでした。

そして今回の岐阜県白川村冬の交流会。沖縄の子供達にとっては、気候や文化、風習の全く違う雪国、白川村での民泊と言う体験と、約半年ぶりのパートナーとの再会、『百聞は一見にしかず』と言うことわざの通りで、事前勉強会で調べた事やパートナーから聞いた白川村の様子を実際に観て、雪国の生活に触れて、寒さを体感した事で、お互いの事を更に理解し、刺激を受け、より深い交流になった。

又、事前練習で習得した棒術と獅子舞を芸能交流会と言う形で披露できた事で、お互いの芸能を知り、地域の伝統芸能に対する誇りと自信に繋がったと思います。

今回の交流事業で、沖縄では出来ない貴重な体験と様々な経験を通し、子供達が成長していく姿を見て、交流事業の大事さを実感すると同時に、育成者の果たす役割の大きさを痛感する事となりました。

この白川村児童交流会に引率として参加させて頂き、白川村教育委員会の方々や育成者の熱い想いが聞け、私自身も大きな刺激を受ける事ができました。

この経験を活かし、これからも、将来の読谷村を担う多くの子供たちの育成に微力ながら務めて行きたいと思います。



寒くそして温かい白川村

読谷村子ども会育成連絡協議会
副会長 當間 信也

「白川村の皆さん！ただいま～」対面式で私は皆さんにそう告げたように心の底から帰ってきたように思いました。岐阜県白川村・沖縄県読谷村冬の交流会で昨年に引き続き今回も参加させていただきました読子連副会長・當間信也です。白川村を訪れる前に、何度も保護者や子ども達に、想像している寒さの数倍寒いと話し続けてきたのですが、昨年その寒さを体感した私でさえ記憶をはるかに超える寒さを感じてしまいました。沖縄ではスリッパというのは靴下の汚れを防ぐ役割でしかありませんが、白川村では体温の低下を防ぐ為の大切な防寒具になります。そのような厳しい環境の中で子ども達は、各パートナー宅で三日間生活を共にして、実際の雪国の生活する事で、松田平次読谷村教育長が常々お話しするような「本物の体験」を経験出来たと思います。

芸能交流会では、夏に演舞したエイサー以上の物を持ってゆきたいという思いで、女の子は獅子舞を、男の子は棒術をすると決意して望みました。子ども会で棒術や獅子舞に携わった方ならわかると思いますが、すぐに身に付くような簡単な代物ではありません。2・3ヶ月の短い練習でしたが、芸能交流会本番当日は、スキー体験直後という厳しいコンディションの中、子ども達は見事に演舞してくれました。芸能交流会に参加していただいたすべての方に満足していただける素晴らしい内容だったと思っています。もちろん子ども達が一番頑張ったのですが、そこには指導をしてくれた先生方や、毎回の練習時に差し入れをしながら送迎してくれた保護者の皆さんのすべての力が発揮された結果です。

芸能指導という立場もあったので、子ども達と一番接する機会もあり、結構みんなの特徴を把握していたように感じていましたが、どうやらそれは思い違いだったようです。私語が多く落ち着きがない子だと思っていた子がスキーや工芸の場では一番起用で凄かったり、ポーっとしている子だと思っていた子が実はしっかり自分の考えを持っていたり、パートナーの家で大丈夫だろうかと一番心配していた子が実は一番家族に馴染んでいたりと、ほかに上げればキリがないほどたくさんの発見がありました。付き合えば付き合うほど子ども達それぞれに素晴らしい面を見つけることができ、本当に毎日驚かされながら楽しく過ごしました。お世話になった家族とのお別れの時は、本当の親子のように抱きつく子、照れながら握手をする子などそれぞれでしたが、それを見ただけで白川村の家庭の温かさを知ることが出来ました。

今回参加した引率者の當山勝則さんも三十年前読子連の交流事業に参加したようです。このように、この事業に参加した子ども達がいつの日か読谷村や白川村それぞれの地域で貢献する人材となってくれたらと願っています。白川村と読谷村のこの事業に携わっていただきましたすべての皆様にこの場をかりて感謝を申し上げます。最後にこの事業が末永く続くことをお祈りして私の挨拶といたします。

有意義な交流会

読谷村教育委員会
生涯学習課 波平恵子

「ようござったな白川村へ」対面式の会場は外の厳寒さを忘れさせるような温かな笑顔で倉教育長はじめ、ご家族、関係者のみなさんが出迎えてくださいました。

夏の交流会以来の再会に、お互いの成長ぶりと友情を確かめ喜び合う歓声があがり、今日からパートナーと寝食を共にすることへの不安等、全く感じさせない様子で交流会が始まりました。

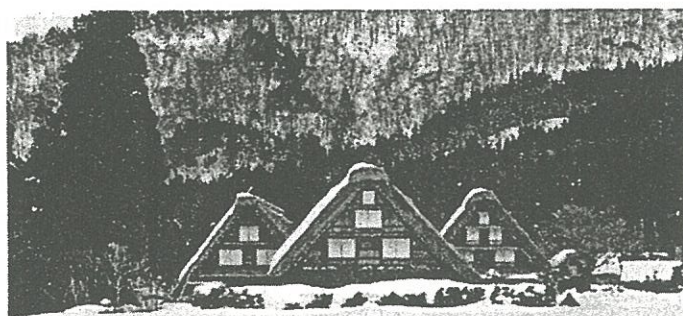
どの子ども、事前学習や芸能練習で培った集中力と忍耐力を発揮し、スキーや各活動に生き生きと望んでいました。初めての体験が多くあったと思いますが、引率者の心配をよそに緊張の中にも順応性があり、終始笑顔で何事にも果敢に挑戦し達成した喜びをかみしめていました。きっと家では見られない頼もしく自立した姿だと思います。あいさつや芸能交流等も堂々と発表でき、成長を感じる事が多くありました。

白川村の子ども達は、地元を誇りと自信を持って活動し、“ひとりだち”の実践をがんばっている様子。地元の民謡踊りを誇らしく披露し、ジュニアリーダーと一緒に交流会を盛り上げ、読谷の子を優しくリード、より絆を深めていました。

雪化粧の山々に囲まれた美しい自然環境の中で、子ども達の健やかな成長を地域で見守り育てている白川村育成者の熱い関わりにも刺激を受け参考になりました。また、様々なプログラムを用意し、子ども達を温かくお引き受けいただきましたご家族の皆様、関係者各位へご尽力、ご指導いただきましたことに心より感謝申し上げます。

交流を終え達成感で満足そうな子ども達から、事業の意義を改めて実感することができました。参加した皆さんは、日頃の子ども会活動が認められた賜物です。白川村で得た貴重な体験を糧に今後の学校生活、諸活動を頑張ってもらいたいと思います。

寒さをものともせず楽しむ、たくましい子ども達と共に、私も引率者として参加させていただき感動をいっぱいもらい、有意義な4日間でした。感謝申し上げます。





スキー体験

楽しみにしていた
スキー体験

パートナーのお友達が
手とり足取り指導。
やっぱり心が通じ合った
仲同士、みるみる上達
して、二時間後には
みんな滑れるようにな
りました。
パートナーの皆さん
育成会の皆さん
大変ありがとう
ございました。

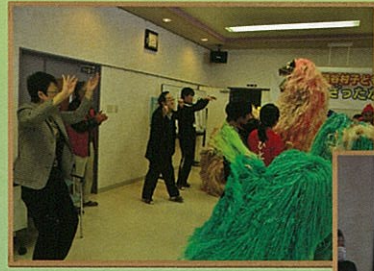


芸能交流会

平瀬・荻町・鳩谷それぞれの古大神



女の子チームの獅子舞



会場の皆さんも
一緒にカチャーシー！



波平棒



長浜棒



座喜味棒



